



Koryo 陵 雲 High School

〒081-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077

https://koryo-high-school.com / E-Mail koryo@chibagakuen.ac.jp

令和8年度入学式



4月7日(火)、新入生49名を迎え令和8年度入学式が挙行された。校長先生は「ようこそ笑顔あふれる向陵へ」と新入生を歓迎し、「どのよう

な大人になりたいか。しっかりと見据えながら登校しましょう」と呼び掛けた。また、新入生代表の挨拶を務めた佐々木凛さん(第二中学校出身)は、「仲間と共に学び、共に活動し、共に感動する三



桜前線が少しずつ北上し、八戸も本格的に春を迎える季節となりました。春の陽気が私たち新入生の新たなスタートを祝福してくれているような気がしています。私たち新入生は今年五十周年を迎える向陵高校に入学することができ、とてもうれしく思います。さくら野で制服を探寸をし、袖を通し、入学者説明会に参加することで、私は春から高校生になるんだという気持ちが強まり、これからの生活に期待を膨らませました。私が高校生活で頑張りたいことは三つあります。一つ目は、チャレンジすることです。中学生の頃は「今まで通り」「いつも通り」で、新しく挑戦することには消極的でした。変わりたいと思っても、なかなか最初の一歩が踏み出せないままでした。高校入学を機に最初の一歩を踏み出したいと思います。チャレンジ講座ではタッチオープンやゴルフなど今までの生活では全く触れてこなかったようなものもあります。中学生の頃は少し避けてきていたフィットネスやダンスなどにも再チャレンジして、自分の可能性を広げられるようにしたいです。

二つ目は勉強です。私は中学生の頃に、学校に足がなかなか向かない時期がありました。幸い、学校に行くようにはなりましたが、学習面での不安が残りました。それは今でも残っています。高校ではそれを解消し、仲間と一緒に学ぶことができる喜びを感じながら、確かな学力をつけていきたいです。

三つ目は、人間関係づくりです。私は、中学校の先生方や友達に温かい言葉をかけてもらったり、優しく接してもらったりした経験があります。また、親のサポートもあり、中学校を卒業し、こうして新しいスタートを切ることができました。人とかかわりの大切さをとても感じた中学三年間でした。高校生活では、周りの人に助けられるばかりではなく、私が周りの人にしてもらったように、今度は自分が助けてあげられるような人になりたいと思います。そのためにも、自分からあいさつをしたり、話しかけたりするなど、コミュニケーションを大事にしていきたいです。また、人との心の距離感も大事にして、お互いが心地よい関係をつくっていきけるようにしたいと思います。

この三つを頑張ることが、校訓である「進取」「練磨」「敬愛」の達成につながると思います。高校生活を始めるにあたり、生活環境や学習内容、人間関係などの「変わるもの」もある中、自分の好きなことを継続し、極めていくなど「変わらないもの」もあります。これら全てを成長の糧として、仲間と共に学び、共に活動し、共に感動する三年間を過ごすことができるよう、新入生一丸となって高校生活を全力で楽しみます。

最後になりますが、先生方、保護者の皆様、そして三年間を共に過ごす新入生の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

令和八年四月七日

新入生代表 八戸市立第二中学校出身 佐々木 凛

新任紹介



高島 幸喜(英語担当)

(岩手県奥州市出身)

私は、英語教師として4月から働き始めることになりました。未だある生徒たちに英語の授業ができることは、今でも信じられないことです。この歳になって、看護の仕事から高校教師に転職とは、一般的には在りえないことだと思っています。この人生の転機をプラスと捉え、前に進むしかないと思っています。生徒に英語を教えることによって、異文化を知り、日々を豊かに楽しく過ごせる手助けとなればと思います。とにかく頑張ります。よろしくお願いたします。



大嶋 遥夏(養護教諭)

(三条中学校/八戸西高出身)

初めまして、養護教諭の大嶋遥夏です。好きな言葉は「※福、雲の如し」です。みなさんに巡り逢えたことが、私にとって大きな幸運だと日々感じています。好きな食べ物、動物、言葉などたくさん教えてください。養護教諭としてまたまた私ですが、みなさんと共に学び、共に成長していきたいです。それぞれが思い描く高校生活を夢見ることができるよう、保健室から見守っています。これからはより一層お願いたします。



※「福、雲の如し」は、「福如雲」とも書き、読み方は、主に「ふくじょうん」または「ふくくものごとし」。意味は「幸福が雲のように次々と湧き起る」という多くの幸福をたとえた言葉。「幸福が雲のごとく次々にやってきたら素晴らしい」との願いが込められている吉祥を表す禅語や言葉でもある。書道などで書き表されることが多い。

対面式

4月8日(水)、生徒会主催で新入生と先輩たちの初顔合わせとなる対面式が行われた。最初に、生徒会長の村田翼さん(3年・湊中学校出身)が歓迎の言葉を述べ、新入生代表の挨拶を佐々木凜さん(1年・第二中学校出身)が行った。新入生たちは、全員が所属することになる委員会の活動内容に真剣に耳を傾けていた。続く部活動紹介では、どんな部活動があるのか、どんな先輩がいるのか、冊子を見たり、ステージを見たりしていた。



ガイダンス実施

4月9日(木)、全校生徒対象で各学年ごとに進路・生活指導などのガイダンスを行った。1年生はさらに、授業の受け方や出欠など中学校とは異なるシステムについて説明を受けた。2年生は進路別のクラス編成となり、今やるべきことについて話を聞いた。最上級生ららしい態度で臨んでいた。

- 《各クラスリーダー・副リーダー》
- 1年1組 リーダー 松浦 文翔(古河市立三和東中学校出身) 副リーダー 赤座 練(下長中学校出身)
 - 1年2組 リーダー 福島 颯太(古河市立三和東中学校出身) 副リーダー 細越 來人(第一中学校出身)
 - 2年1組 リーダー 松川 颯蒼(青森市立沖館中学校出身) 副リーダー 中村 凪紗(根城中学校出身)
 - 2年2組 リーダー 黒藤小太郎(菅野町立逢隈中学校出身) 副リーダー 木村 優仁(北稜中学校出身)
 - 3年1組 リーダー 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身) 副リーダー 鈴木 柊介(大井町立湘光中学校出身)
 - 3年2組 リーダー 頼住 隆汰(厚木市立小船中学校出身) 副リーダー 長谷川航太(江東区立深川第四中学校出身)
- 《各委員会委員長・副委員長》委員長3年 副委員長2年
- 中央委員会委員長 村田 翼(湊中学校出身) 副委員長 丹野 周杜(第二中学校出身)
 - 生活向上委員会委員長 松田 和花(洋野町立種市中学校出身) 副委員長 八幡 優菜(湊中学校出身)
 - 環境整備委員会委員長 川俣 創(笠間市立笠間中学校出身) 副委員長 古館 蒼空(江陽中学校出身)
 - 保健体育委員会委員長 木田 明秀(白山台中学校出身) 副委員長 小笠原健悟(五戸町立五戸中学校出身)
 - 文化委員会委員長 榊 朔愛(十和田市立甲東中学校出身) 副委員長 榊引 煌星(大館中学校出身)
 - 図書委員会委員長 坂本 響亮(北稜中学校出身) 副委員長 本田 優愛(五戸町立五戸中学校出身)
 - 防災委員会委員長 上井 啓人(第二中学校出身) 副委員長 佐々木礼登(江陽中学校出身)

クラス役割決まる

令和8年度のクラス役割が決定したことに伴い、4月20日(月)、任命式が行われた。司会進行を生徒会役員の丹野周杜さん(2年・第二中学校出身)が務め、リーダー、委員長を一人ひとりが紹介した。任命状は、校長先生から各クラスのリーダー代表として頼住隆太さん、委員長の代表として村田翼さん(湊中学校出身)の2人に授与され、「責務を全うするように」との激励があった。



《高田宮杯JFA U18サッカーリーグ 2026青森県3部前期ラウンド》

○4月12日(日) 向陵 0-5 光星3rd

○4月19日(日) 向陵 4-2 工大1-2nd

《得点》2年 古館 蒼空(江陽中学校出身)
 1年 福島 颯太(古河市立三和東中学校出身)
 1年 古川 幸輔(松戸市立常盤中学校出身)
 1年 溝口奏太郎(長者中学校出身)

○4月26日(日) 向陵 2-1 八西2nd

1年 福島 颯太(古河市立三和東中学校出身)
 1年 溝口奏太郎(長者中学校出身)



サッカー試合結果

4月11日(土) 向陵 4-0 三農2nd

《得点》3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)
 3年 鈴木 柊介(大井町立湘光中学校出身)
 3年 田邊 慧(横浜市立中川西中学校出身)

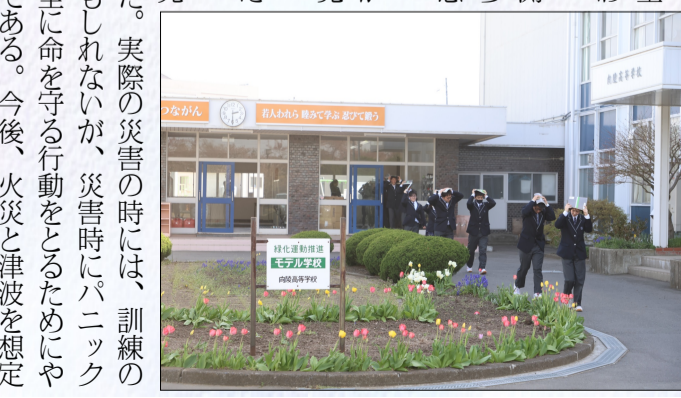
○4月25日(土) 向陵 0-14 青森山田4th



《交通安全講習》 講師 八戸警察署 宮下 幸代様

今年4月1日から 歳以上の自転車運転者に対し、違反行為に反則金(青切符)が適用されたことを受け、4月 日(月)、全校生徒を対象に交通安全講習が行われた。違反行為は、種類にも及び、その種類の多さに困惑している人がいるのも現状。また、青切符制度を悪用した詐欺事件が起きていることから、主だったルールの確認と詐欺について注意喚起が行われた。講話の最後に、長谷川航太さん(3年・江東区立深川第四中学校出身)から「自転車の固定スタンドにスマートフォンを装着して地図を見ることは違反になりますか」という質問が上がった。宮下さんからは「スマートフォンの地図画面を注視しながら走り続ける、手に持って画面を操作し続けるという行為があれば違反となるが注視の度合いにもよる。あれば見してしまうのが人間の心理なので、つけないのがよい。どうしても見る必要がある場合は、安全な場所を確認すること」との回答があった。

4月 日(水)、地震を想定した全校避難訓練が行われた。日(月)に震度5強を観測していたことから災害の怖さを実感していたはずだが、一部、談笑しながら避難する姿が見られた。今回は、非常階段を使った避難もあったが、全校生徒の避難完了はスムーズだった。実際の災害の時には、訓練のようにいかないかもしれないが、災害時にパニックを防ぎ、迅速・安全に命を守る行動をとるためには、やはり訓練は不可欠である。今後、火災と津波を想定した訓練も予定している。



避難訓練